

ドルフィン交易のニュースレター
2019.2

2月1日(金)に八王子小学校へビデオ撮影のDMを送致しました。これらの作業は前の職場で全国の学校に発送していた要領で結構楽しく出来ました。ガッコムというサイトに学校の所在地や学校の児童生徒数なども記載されているので有効な情報源です。最初はどなたも断られることから始まるのが営業ですと、ビズネットの仲間からのアドバイスでした。資料も参考にさせて頂きました。名刺と封筒を作ってDM 発送当社のお披露目です。ともあれビズネットの人たちの手取り足取りの指導を受けて最初のステップを踏み出した。<https://www.gacom.jp/>

次の週一番近い小学校に出向いて情報を教えてもらいに伺った。個人情報の観点でやっておりませんというご返事でした。また教育委員会に行きましたかということで、早速その足で市役所内にある教育委員会を訪ねました。その結果それぞれビデオ撮影の判断は各学校サイドで決めているということで自由な売込が可能であることを知った。また校長会というのがあってそこで聞いてみてはいかがでしょうかとも言われ校長会の会長さんを紹介されました。対応策をビズネットの副会長に尋ねるとそういう会でダメとなったら全部の学校がダメになってしまうとアドバイスを受けた。会長さんにも電話を入れる。年度末は忙しく新年度になってから落ち着きますのでその頃またお電話くださいと言われ今回のDM作戦は4月以降までペンディング中です。

2月9・10日東京ビデオフェスティバル開催される(東京でも積雪)



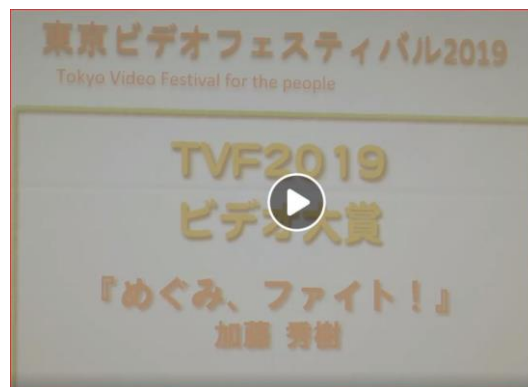
Green Hill Terada

天気予報では雪模様と言われて交通の便が心配であったがさほどの影響もなく、武蔵大学江古田キャンパスに到着。今回で3回目ですので大体のスケジュールは把握できている。1日目は12:00受付開始なのだが早めに到着した為近くの喫茶店で時間をつぶす。この日はノミネートされた作品のダイジェスト版を見る。セッション1【戦争・社会・福祉】、

セッション2【地域・文化・自然】、セッション3【人・家族・表現】に分かれノミネートされたそれぞれの作者が紹介され「TVF2019 アワード」の表彰を受ける。



2日目は9:00開始、市民賞、TVFジャーナリズム賞の発表と表彰がある。審査委員の人たちの率直な作品トークが展開される。そして10:40 TVF2019公開審査会一番の山場を迎える。今年の話作は何か、審査委員の人たちの熱い討論が（大林宣彦さんはビデオ・レターにて参加）行われた。そして大賞は「めぐみ、ファイト」に全員一致で決定された。



<https://www.facebook.com/nogami.isomitsu/videos/1905638612881906/>

この様子は後席から Sony WPS-Z150 三脚を立てて友達と一緒に撮影が出来ました。午後からは映像教育の現場からと題して、元 NHK の永田浩三さん(武蔵大学教授)講演があり「声が世界を動かした」という作品上映がありました。14:40 から高校生、大学生によるプレゼンテーションがスライドを使って行われた。若い新しい感性で「映像」を捉えていることが知れた。埼玉県立芸術総合高等学校、愛知県の同崩高等学校、東京工芸大学、中央大学、上智大学の5校が情熱的に発表してくれました。

私は昨年 2018（西澤顧問と9年目の私）、今年 2019（平成最後のお田植祭）と残念ながらアワードを逸したが来年こそは闘志を燃やしております(笑) まだ TVF とは3年のおつきあいですので、これから長い一歩が踏み出されたように思っております。代表理事の小林はくどうさんとは同じ八王子市の住民です。何かと心強いです。

2月14日ビズネット総会

新宿駅で途中下車し、南口付近の風景を映像にしました。



2月21日八王子ITネットワーク2月定例会に参加する。



「ボランティアを評価する社会へ」

今までになく多くの参加者があり2カメラで楽しくビデオ撮影ができました。マイクを使わないということでスピーカーからの音源も出来ず、1本中央近くにスタンドマイクをセットし臨場感のある撮影が出来た。こういう会議に大切なのは誰が何を話したかというよりクリアな音声です。それと撮影者は外部の人間ではなく会員の中の一人として会場の雰囲気と一体化して自由な発言を妨げるものであってはならないという大原則を貫いて臨めたことです。内容はSNSにアップすることをとて出来ない、また尺を詰めて編集ということも自分にはとても出来ないしそんな時間も私には割けないので100分のDVDとなりました。オーサリングツールはTMPGE オーサリングワークス6を使用し、チャプター入りで発言者ごとに分けられた。ソフトはFCPX マルチカム編集(2カメラ)



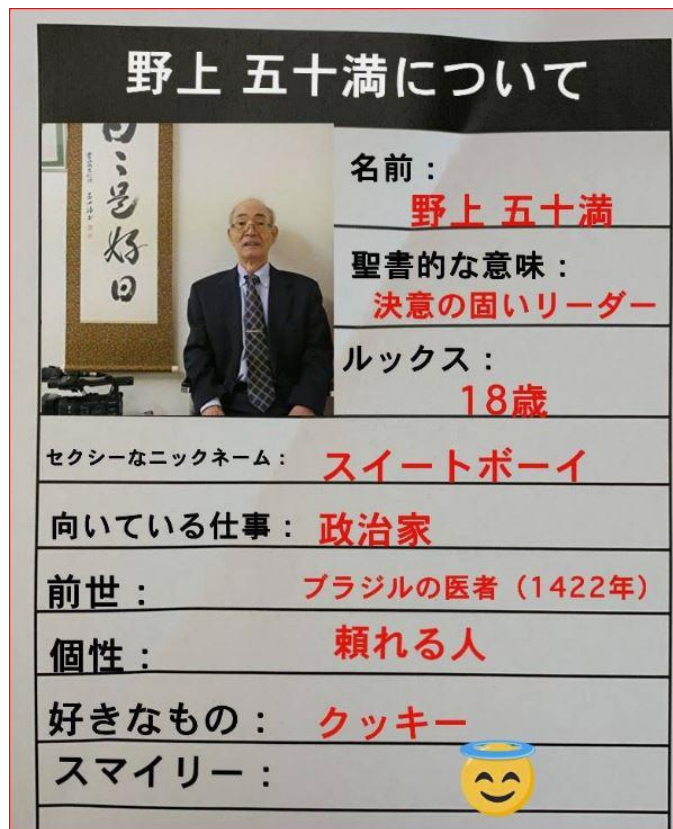
BD100分

映像を通して社会を見つめる

2月27日 営業再開 オリジナルホールへビデオ撮影のことについて館長にお聞きする。主催者側からの指示でビデオ撮影は行われるというご返事でした。丁寧に対応して頂き嬉しかったです。

2月28日 晦日

ビズネットへ投稿原稿作成する。ふと自分を立ち止まり今までの足跡を見つめ直すことも大事な事です。私の原点はヨーロッパへの遊学にあると言っても過言ではない。高校を卒業し集団就職した。日本橋の繊維問屋に就職した青春時代だ。全学連Vs機動隊、大学は無秩序化ロックアウト閉鎖。そんな時代を背景に日本の価値観とは違った世界に旅立ったあの頃が懐かしく、私はそこから原点であるように思えてならない。小田実の「何でも見てやろう」と熱い情熱を燃やしたアクションを文字に綴ることを企画いたしました。出発から帰国までの二年間を10回の連載でやりたい旨を会長にメールいたしました。4月号からに願いが叶うかもしれません。



Facebook 引用

무단 전재 금지
禁止未经许可
It is ok, but please say "This picture's painter is belong to Isomitsu Nogami" when you use it. If you don't say otherwise, I can't admit.

公益社団法人職員 (文責)

無断転載を禁止します。

Written by I. Nogami